

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月26日

計画の名称	横手市における住環境の向上（第二期）（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	横手市													
計画の目標	将来のライフスタイルに対応し、安全で快適な住まいづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		90	A	90	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成28		平成32
1	・横手市における耐震性が確保された住宅の割合 住宅土地統計調査の統計データ（平成25年・平成30年）や事業実施状況をもとに算出する。 （住宅の耐震化率）=（耐震性が確保された住宅数）/（全住宅数）	67%	%	75%
2	・横手市におけるアスベスト飛散防止対策の推進（飛散防止の注意喚起） アスベスト台帳を基にアスベストの使用が疑われる対象建築物を抽出する。 （アスベスト飛散防止注意喚起率）=（解体工事の注意喚起文書配布数）/（アスベストの使用が疑われる建築物数）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	横手市	間接	個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業(横手市全域)	耐震改修及び改築	横手市						13		-	
	A16-002	住宅	一般	横手市	直接	横手市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	アスベスト台帳作成	横手市						70		-	
	A16-003	住宅	一般	横手市	直接	横手市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断	横手市						7		-	
											小計						90			
												合計						90		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	45	12	1	2	4
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	45	12	1	2	4
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	45	12	1	2	4
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 横手市における住環境の向上（第二期）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題と整備計画の目標の適合性	
I. 目標の妥当性 1) 現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標が数値等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑦事業熟度等を踏まえた事業実施の確実性	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

1) 事業熟度が十分である。

○

III. 計画の実現可能性

⑧関連事業との連携等による事業効果発現の確実性

III. 計画の実現可能性

1) 事業実施のための環境整備が図られている。

○